

[学会・シンポジウム]

1. 東 匠, 磯部洋一郎, 岡崎優子, 大内仁志, 脇本敏幸, 古田 巧, 菅 敏幸: アクロメリン酸類の合成研究
日本化学会第 90 春季年会 (大阪) 2010 年 3 月 27 日
2. Suratsawadee Piyaviriyakul, 清水広介, 浅井知浩, 脇本敏幸, 菅 敏幸, 奥 直人: 新規カテキン誘導体の血管新生抑制作用の検討
日本薬学会 第 130 年会 (岡山)、講演要旨集 4、p.224、2010 年 3 月 28 日
3. 藤田 基寛, 川口 卓巳, 鈴木 智大, 赤星 早江子, 浅川 倫宏, 脇本 敏幸, 菅 敏幸, 長井 薫, 河岸 洋和: スギヒラタケ (*Pleurocybella porrigens*) 中の毒性物質の探索
日本農芸化学会(東京) 2010 年 3 月 28 日
4. 竹元万壽美: メチル化カテキンとテアフラビンの関係
日本薬学会 第 130 年回(岡山) 2010 年 3 月 29 日
5. 眞鍋多美子, 吉田篤史, 廣岡康男, 脇本敏幸, 菅 敏幸: カテキン類のプロープ分子設計
日本薬学会 第 130 年回(岡山) 講演要旨集 p.116 2010 年 3 月 29 日
6. 廣岡康男, 浅川倫宏, 川本諭一郎, 古田 巧, 脇本敏幸, 福山 透, 菅 敏幸: SB-203207 の合成研究
日本薬学会 第 130 年回(岡山) 講演要旨集 p.66 2010 年 3 月 28 日
7. 飛坐愛輝, 中山美穂, 伊藤 剛, 稲井 誠, 浅川倫宏, 脇本敏幸, 菅 敏幸: ノビレチンの全合成と PET プロープ化
日本薬学会 第 130 年回(岡山) 講演要旨集 p.106 2010 年 3 月 29 日
8. 池内和忠, 酒井佑宜, 後藤敏裕, 稲井 誠, 脇本敏幸, 菅 敏幸: Sphingofungin E の合成研究
日本薬学会 第 130 年回(岡山) 講演要旨集 p.68 2010 年 3 月 28 日
9. 相原義之, 佐々木羽玲, 脇本敏幸, 村田武士, 岩田 想, 菅 敏幸: Palmerolide A の合成研究
日本薬学会 第 130 年回(岡山) 講演要旨集 p.127 2010 年 3 月 30 日
10. 赤星早江子, 浅川倫宏, 脇本敏幸, 川口卓巳, 鈴木智大, 河岸洋和, 菅 敏幸: スギヒラタケに含まれる新規アミノ酸誘導体の合成研究

日本薬学会 第130年回(岡山)講演要旨集 p.86 2010年3月28日

11. 清水啓太, 安田吉徳, 内田賢司, 佐藤弦一郎, 藤本哲平, 三村 啓, 福山 透, 脇本敏幸, 菅 敏幸: UCS1025A の合成研究

日本薬学会 第130年回(岡山)講演要旨集 p.66 2010年3月28日

12. 松本章吾, 浅川倫宏, 脇本敏幸, 菅 敏幸: (-)-Dehydrodiconiferyl Alcohol の合成

日本薬学会 第130年回(岡山)講演要旨集 p.68 2010年3月28日

13. 酒井佑宜, 池内和忠, 山田悠史, 脇本敏幸, 菅 敏幸: 高活性 Julia 試薬の開発

日本薬学会 第130年回(岡山)講演要旨集 p.79 2010年3月28日

14. 山下 恵, 清水啓太, 小泉靖明, 脇本敏幸, 古田 巧, 菅 敏幸: アンセリン類の合成研究

日本薬学会 第130年回(岡山)講演要旨集 p.68 2010年3月28日

15. 宮田 翔, 脇本敏幸, 諏訪芳秀, 糠谷東雄, 菅 敏幸: アペリジンの合成研究

日本薬学会 第130年回(岡山)講演要旨集 p.68 2010年3月28日

16. 吉田篤史, 赤岩路則, 横島 聡, 脇本敏幸, 福山 透, 菅 敏幸: レモノマイシンの合成研究

日本薬学会 第130年回(岡山)講演要旨集 p.65 2010年3月28日

17. 苅山真美, 家田 成, 升田明孝, 脇本敏幸, 福山透, 菅 敏幸: (-)-FR901483 の合成研究

日本薬学会 第130年回(岡山)講演要旨集 p.66 2010年3月28日

18. 浅川倫宏, 赤星早江子, 脇本敏幸, 川口卓巳, 鈴木智大, 河岸洋和, 菅 敏幸: スギヒラタケ毒成分の合成と構造決定

第8回 次世代を担う有機化学シンポジウム(東京)講演要旨集 p.45 2010年5月14日

19. 浅川倫宏, 吉田篤史, 廣岡康男, 菅田裕介, 新田真理子, 眞鍋多美子, 村上宏起, 鈴木隆, 大島幹弘, 吉田 晃, 伊藤邦彦, 古田 巧, 脇本敏幸, 菅 敏幸: プローブ化を指向した EGCg 誘導体の合成

日本ケミカルバイオロジー学会 第5回年会(神奈川)講演要旨集 p.54 2010年5月18日

20. 浅川倫宏, 赤星早江子, 脇本敏幸, 川口卓巳, 鈴木智大, 河岸洋和, 菅 敏幸: スギヒラタケ毒成分の合成と構造決定

新規素材探索研究会(神奈川)2010年6月11日

21. 井戸俊輔, 吉田篤史, 廣岡康男, 眞鍋多美子, 浅川倫宏, 脇本敏幸, 菅 敏幸 : 有機合成を基盤とするカテキン類のプロープ分子化

新規素材探索研究会 (神奈川) 2010 年 6 月 11 日

22. 濱島義隆, 岩佐江梨子, 藤城信哉, 樋口瑛介, 伊藤昭博, 吉田 稔, 袖岡幹子 : ヒストンメチル化酵素阻害剤 (+)-Chaetocin および類縁体の合成と構造活性相関

新規素材探索研究会 (神奈川) 2010 年 6 月 11 日

23. 飛坐愛輝, 中山美穂, 伊藤 剛, 稲井 誠, 浅川倫宏, 脇本敏幸, 菅 敏幸 : ノビレチンの全合成と PET イメージング

新規素材探索研究会 (神奈川) 2010 年 6 月 11 日

24. 東 匠, 磯部洋一郎, 岡崎優子, 大内仁志, 浅川倫宏, 脇本敏幸, 古田 巧, 菅 敏幸 : アクロメリン酸類の合成研究

第 97 回有機合成シンポジウム (東京) 2010 年 6 月 18 日

25. 廣瀬良嗣, 酒井佑宜, 池内和忠, 富成祐介, 脇本敏幸, 古田 巧, 福山 透, 菅 敏幸 : Keramaphidin B の合成研究

日本薬学会 東海支部会 (春季) (岐阜) 2010 年 7 月 3 日

26. 大内仁志, 磯部洋一郎, 東 匠, 岡崎優子, 脇本敏幸, 古田 巧, 浅川倫宏, 菅 敏幸 : アクロメリン酸類の合成研究

日本薬学会 東海支部会 (春季) (岐阜) 2010 年 7 月 3 日

27. 赤尾祐介, 廣岡康男, 浅川倫宏, 川本諭一郎, 古田 巧, 脇本敏幸, 福山 透, 菅 敏幸 : SB-203207 および類縁体の全合成

日本薬学会 東海支部会 (春季) (岐阜) 2010 年 7 月 3 日

28. 升田明孝, 苅山真美, 家田 成, 脇本敏幸, 福山透, 菅 敏幸 : (-)-FR901483 の合成研究

日本薬学会 東海支部会 (春季) (岐阜) 2010 年 7 月 3 日

29. 佐藤弦一郎, 内田賢二, 安田吉徳, 清水啓太, 藤本哲平, 三村 啓, 福山 透, 脇本敏幸, 浅川倫宏, 菅 敏幸 : UCS1025A の合成研究

日本薬学会 東海支部会 (春季) (岐阜) 2010 年 7 月 3 日

30. 井戸俊輔, 吉田篤史, 廣岡康男, 眞鍋多美子, 脇本敏幸, 浅川倫宏, 菅 敏幸 : プロープ化を指向した EGCG 誘導体の合成

日本薬学会 東海支部会 (春季) (岐阜) 2010年7月3日

31. 山本純也, 北村祐樹, 橋本理乃, 古田 巧, 枅飛雄真, 東屋 功, 菅 敏幸, 川端猛夫: リガン
ドフリー Pd 触媒ドミノ型反応を利用した新規軸性不斉アミノ酸および関連誘導体の効率
的合成

日本プロセス化学会 2010 サマーシンポジウム (東京) 講演要旨集 p.180, 2010年7月16
日

32. 吉田篤史, 赤岩路則, 横島 聡, 脇本敏幸, 福山 透, 菅 敏幸: レモノマイシンの合成
研究

第45回天然物化学談話会 (愛知) 2010年7月7日

33. 菅敏幸、竹元万壽美、脇本敏幸: 茶の効能解明を可能にするプローブ分子の合成

静岡県立大学 2010US フォーラム、2010年8月3日

34. 竹元万壽美: 廃棄茶葉の有効利用法の開発—テアフラビンを中心とした有用物質生産から
ヘルスケア製品まで—

静岡県立大学 2010US フォーラム、2010年8月3日

35. 竹元万壽美: 酵素制御テアフラビン類高含有茶の開発

第14回生体触媒化学シンポジウム in 静岡 (静岡)、講演要旨集 p90-91, 2010年9月
23,24日

36. 鈴木智大、藤田基寛、天野裕子、浅川倫宏、赤星早江子、脇本敏幸、小林夕香、森田達
也、新井信隆、長井 薫、田中滋康、平井浩文、菅 敏幸、河岸洋和: スギヒラタケ食
中毒事件の化学的解明

第52回 天然有機化合物討論会(静
岡) 2010年9月30日

37. 東 匠, 磯部洋一郎, 岡崎優子, 大内仁志, 浅川倫宏, 脇本敏幸, 古田 巧, 濱島義隆,
菅 敏幸: アクロメリン酸類の合成研究

第40回複素環化学討論会 (仙台) 2010年10月15日

38. 竹元万壽美: Novel theaflavin tea and functionals against lifestyle-related disease

ICOS 2010 The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (静岡)

Abstracts p 90, 2010年10月26日

39. Hiroaki Takemoto, Yoshinori Kobayashi, Masumi Takemoto: Attenuation of stress-
induced excitatory behaviors in mice by theaflavins

ICOS 2010 The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (静岡)

Abstracts p 90, 2010 年 10 月 26 日

40. Eiji Shida, Kazuo Mochizuki, Eiji Shida, Kazuo Mochizuki, Toshimichi Asanuma, Yoshiaki Kitsukawa, Kenji Miyake, Takaya Watase, Toshihiro Suzuki, Masumi Takemoto:
Optimization of theaflavin formation from shredded fresh tea leaves in due amount of water

ICOS 2010 The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (静岡)

Abstracts p 65, 2010 年 10 月 26 日

41. Yoshinori Sekiguchi, Yuko Yabushita, Yuka Azuma, Yasunari Sakabe, Masumi Takemoto:
Development of manufacturing process for theaflavin extract by Fermentational method using raw tea leaves

ICOS 2010 The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (静岡)

Abstracts p. 67, 2010 年 10 月 26 日

42. Kosuke Shimizu, Tomohiro Asakawa, Norihiro Harada, Hideo Tsukada, Toshiyuki Kan, Naoto Oku: Positron imaging of biodistribution of [¹¹C]Me-EGCg.

ICOS 2010 The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (静岡)

Abstract、 p.102、 2010 年 10 月 26 日

43. Suratsawadee Piyaviriyakul, Kosuke Shimizu, Atsushi Yoshida, Tomohiro Asai, Toshiyuki Kan, Naoto Oku: Investigation of EGCg distribution in HUVECs.

ICOS 2010 The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (静岡)

Abstract、 p.107、 2010 年 10 月 26 日

44. Tomohiro Asakawa, Atsusi Yoshida, Yoshiyuki Aihara, Toshiyuki Wakimoto, Kosuke Shimizu, Toshifumi Akizawa, Motomi Konishi, Norihiro Harada, Hideo Tsukada, Naoto Oku, Toshiyuki Kan: Regioselective synthesis of methylated epigallocatechin gallate via nitrobenzenesulfonyl (Ns) protecting group

ICOS 2010 The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (静岡)

Abstract、 p.107、 2010 年 10 月 26 日

45. Atsusi Yoshida, Yasuo Hirooka, Shunsuke Ido, Tomohiro Asakawa, Toshiyuki Wakimoto and Toshiyuki Kan : Concise synthesis of catechin probes that would enable analysis and imaging of EGCg dynamics

ICOS 2010 The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (静岡)

Abstract、p.108、2010年10月26日

46. Aiki Hiza, Miho Nakayama, Makoto Inai, Kosuke Shimizu, Tomohiro Asakawa, Toshiyuki Wakimoto, Norihiro Harada, Hideo Tsukada, Naoto Oku, Toshiyuki Kan : Practical synthesis of nobiletin and its PET imaging study

ICOS 2010 The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (静岡)

Abstract、p.106、2010年10月26日

47. 廣岡康男, 赤尾祐介, 浅川倫宏, 川本諭一郎, 脇本敏幸, 古田 巧, 福山 透, 菅 敏幸 : SB-203207 の全合成

第 36 回反応と合成の進歩シンポジウム化学討論会 (愛知) 2010 年 11 月 1 日

48. 古田 巧, 山本純也, 北村祐樹, 橋本理乃, 柁飛雄真, 東屋 功, 菅 敏幸, 川端猛夫 : Pd 触媒ドミノ型ビアリアルカップリング反応の開発と軸性不斉アミノ酸合成への展開

第 9 8 回有機合成シンポジウム (東京) 講演要旨集 p.74, 2010 年 11 月 6 日

49. 池内和忠, 稲井 誠, 浅川倫宏, 濱島義隆, 菅 敏幸 : スフィンゴフィンゲン E の合成研究

第 41 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会 (愛知) 2010 年 11 月 7 日

50. 山田悠史, 安田吉徳, 石田理沙, 中西香爾, 浅川倫宏, 菅 敏幸 : ビオチンタグ簡便導入法の開発

第 41 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会 (愛知) 2010 年 11 月 7 日

51. 佐々木羽玲, 相原義之, 河西昭典, 村田武士, 岩田 想, 浅川倫宏, 濱島義隆, 菅 敏幸 : パルメロライド A の合成研究

第 41 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会 (愛知) 2010 年 11 月 7 日

52. 浅川倫宏, 吉田篤史, 井戸俊介, 眞鍋多美子, 鈴木 隆, 大島幹弘, 伊藤邦彦, 清水広介, 奥 直人, 原田典弘, 塚田秀夫, 脇本敏幸, 濱島義隆, 菅 敏幸 : EGCg の効率的合成法の開発, プローブ化, 機能と動態の解明

第 29 回 メディシナルケミストリーシンポジウム (京都) 2010 年 11 月 17 日

53. 山下 恵, 清水啓太, 小泉靖明, 脇本敏幸, 浅川倫宏, 濱島義隆, 菅 敏幸 : アンセリン類の合成研究

日本薬学会 東海支部会(秋季) (静岡) 講演要旨集 p.132 2010 年 11 月 28 日

54. 廣瀬良嗣, 相原義之, 櫻田明日香, 浅川倫宏, 濱島義隆, 菅 敏幸 : テアフラビン類の合成研究

日本薬学会 東海支部会(秋季)(静岡)講演要旨集 p.133 2010年11月28日

55. 佐々木羽玲, 相原義之, 河西昭典, 村田武士, 岩田 想, 浅川倫宏, 濱島義隆, 菅 敏幸 : パルメロライド A の合成研究

日本薬学会 東海支部会(秋季)(静岡)講演要旨集 p.133 2010年11月28日

56. 眞鍋多美子, 吉田篤史, 廣岡康男, 浅川倫宏, 濱島義隆, 菅 敏幸 : カテキン類のプローブ分子設計

日本薬学会 東海支部会(秋季)(静岡)講演要旨集 p.134 2010年11月28日

57. 飛坐愛輝, 浅川倫宏, 脇本敏幸, 濱島義隆, 菅 敏幸 : ノビレチンの全合成とプローブ分子化

日本薬学会 東海支部会(秋季)(静岡)講演要旨集 p.134 2010年11月28日

58. 山田悠史, 安田吉徳, 石田理沙, 浅川倫宏, 濱島義隆, 中西香爾, 菅 敏幸 : 固相合成法を用いたビオチンタグの簡便な導入法の開発

日本薬学会 東海支部会(秋季)(静岡)講演要旨集 p.135 2010年11月28日

59. Junya Yamamoto, Yuki Kitamura, Ayano Hashimoto, Takumi Furuta, Hyuma Masu, Isao Azumaya, Toshiyuki Kan, Takeo Kawabata : Pd-catalyzed synthesis of amidoaza[5]helicene and axially chiral amino acid

2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM2010) (Hawaii)

2010年12月18日

60. Tomohiro Suzuki, Motoriro Fujita, Takumi Kawaguchi, Saeko Akahoshi, Tomohiro Asakawa, Toshiyuki Wakimoto, Kaoru Nagai, Toshiyuki Kan, Hirokazu Kawagishi : New unusual amino acids from the mushroom *Pleurocybella Porrigens*

2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM2010) (Hawaii)

2010年12月18日